

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	新潟県	関係市町村	粟島浦村
事業名	水産物供給基盤整備事業（地域水産物供給基盤整備事業）		
地区名	釜谷	事業主体	粟島浦村

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	釜谷漁港（第1種）	漁場名	粟島漁場
陸揚金額	38 百万円	陸揚量	66.2 トン
登録漁船隻数	36 隻	利用漁船隻数	92 隻
主な漁業種類	刺網、小型定置網、釣り	主な魚種	ブリ類、マダイ、ヒラメ、メバル類、サザエ
漁業経営体数	36 経営体	組合員数	51 人
地区の特徴	釜谷漁港は、県北の海上に浮かぶ離島粟島の西海岸に位置し、好漁場と自然に恵まれた環境にあり、古くから漁業集落が形成され、水産業を主産業としてきた。 住民の大多数が漁業と観光を共存させた産業を行うことで釜谷地区を維持している。		
2. 事業概要			
事業目的	当漁港は、西海岸に位置していることから、冬季風浪による港内静穏度が悪く、係留が出来ず、船揚場や他港へ避難を強いられている状況にある。本事業では、防波堤等の外郭施設及び護岸整備を行い、港内静穏度の向上を図る。 また、当地域は漁業と観光が共存した観光漁業を推進している。近年タイ・ヒラメの高級魚でも安価となっているため、魚礁を設置することで、良好な生産性の高い魚礁漁場を造成し、漁業従事者は漁業の合間に観光客を対象とした釣船により所得向上を図る。		
主要工事計画	沖防波堤（新設）L=60m、沖防波堤消波（新設）L=15m、東防波堤（改良）L=60m、東護岸（改良）L=40m、魚礁工（新設）V=6,000m ³		
事業費	1,770百万円	事業期間	平成13年度～平成21年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
<p>本事業では、平成17年に期中評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。その際の分析の算定根拠となった利用隻数、魚価等については、漁業者の減少、魚価の低迷といった要因から減少しており、費用便益比率も平成17年の1.04から平成28年の1.02へと減少している。</p>				
2. 事業効果の発現状況				
<p>事業実施以前は、港内の静穏度が不十分なため、漁業活動に支障が生じていたが、本事業における外郭施設等の整備により、出漁日数の増加、労働環境の改善等が図られた。現時点での費用対効果分析の結果は、1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。</p>				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>本事業により整備された施設については、漁港管理者である粟島浦村が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき定めた漁港管理規定に従い、適正に維持管理している。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>外郭施設の整備に伴う静穏度の確保により、外郭施設の内側に藻場が育成し、漁場の再生効果が見られる。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>当該漁港における登録漁船隻数は、平成17年には42隻であったが、高齢化、集落人口の減少等により、平成25年には36隻に減少した。</p>				
6. 今後の課題				
<p>本事業で整備した漁港施設の効果を長期的に発現させていくために、施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が必要である。 漁業者の高齢化が進行しており、今後後継者の育成に取り組む必要がある。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成17年評価時の 費用便益比B/C	1.04	現時点の B/C	1.02	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

III 総合評価

本事業では、刺し網漁船の拠点港として重要な役割を担っている当該地区において、安全で効率的な漁業活動を確保するために、外郭施設等の整備を行った。
貨幣化が可能な効果について費用対効果分析を行った結果、1.0を超えており、経済効果が確認された。
以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、一定の事業効果の発現が認められた。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	新潟県	地区名	釜谷
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	施設の耐用年数	漁港施設50年 漁場施設30年

2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,457,304
②漁獲機会の増大効果			217,420	千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就労環境の向上		⑤漁業就労環境の労働環境改善効果	759,189	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果	175,856	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
漁場施設 水産物の生産性向上		⑬漁獲可能資源の維持・培養効果	287,362	千円
		⑭その他		千円
	計（総便益額）	B	2,897,362	千円
	総費用額（現在価値化）	C	2,838,242	千円
	費用便益比	B / C	1.02	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・漁村の定住化促進
- ・次世代を担う子供たちへの教育の場（魚礁周辺での漁業体験）の提供
- ・魚礁整備による遊漁船業の推進

釜谷地区地域水物供給基盤事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

(1) 事業目的：当漁港は、西海岸に位置していることから、冬季風浪による港内静穏度が悪く、係留が出来ず、船揚場や他港へ避難を強いられている状況にある。本事業では、防波堤等の外郭施設及び護岸整備を行い、港内静穏度の向上を図る。

また、当地域は漁業と観光が共存した観光漁業を推進している。近年タイ・ヒラメの高級魚でも安価となっているため、魚礁を設置することで、良好な生産性の高い魚礁漁場を造成し、漁業従事者は漁業の合間に観光客を対象とした釣船により所得向上を図る。

(2) 主要工事計画： 沖防波堤（新設）L=60m、沖防波堤消波（新設）L=15m、東防波堤（改良）L=60m、東護岸（改良）L=40m、魚礁工（新設）V=6,000空m³

(3) 事業費： 1,770百万円

(4) 工期： 平成13年度～平成21年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	2,838,242（千円）
総便益額（現在価値化）	②	2,897,362（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.02

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
沖防波堤（新設）	L=60m	1,415,285
沖防波堤消波（新設）	L=15m	95,632
東防波堤（改良）	L=60m	82,088
東護岸（改良）	L=40m	18,020
増殖施設（新設）	V=6,000空m ³	137,435
計		1,748,460
維持管理費等		22,400
総費用（消費税込み）		1,770,860
内、消費税額		88,543
総費用（消費税抜）		1,682,317
現在価値化後の総費用		2,838,242

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
漁港施設			
水産物生産コストの削減効果		51,609	出漁待機時間の削減、遊漁船の出航日数の増加、陸揚時他港移動経費の削減、港外避難回数の削減、監視作業時間の削減、漁船耐用年数の延長
漁獲機会の増大効果		7,690	出漁可能日数の増大、
漁業就労環境の労働環境改善効果		26,790	漁業者の快適性・安全性の向上、生産労働作業の労働負担の軽減
生命・財産保全・防御効果		6,220	漁港背後地域の財産保全
漁場施設			
漁獲可能資源の維持・培養効果		11,088	魚礁整備に伴う生産量の増大
計		103,397	

(4) 総便益算出表

評価期間	年度	割引率	デフレ率	費用(千円)			便益(千円)						割引後効果額合計(千円) ①×④
				事業費 (維持管理費含む) ①	事業費 (税抜) ③	現在価値(維持管理費含む) ①×②×③	漁港施設				漁場施設	計 ④	
							水産物生産コストの削減効果	漁獲機会の増大	漁業就業者の労働環境改善効果	生命・財産保全・防御効果	漁業外産業への効果		
-15	13	1.801	1.138	180,000	171,429	351,349					2,218	2,218	3,995
-14	14	1.732	1.161	218,740	208,324	418,908					2,218	2,218	3,842
-13	15	1.665	1.163	190,000	180,952	350,395					4,436	4,436	7,386
-12	16	1.601	1.162	220,155	209,671	390,065					4,436	4,436	7,102
-11	17	1.539	1.139	246,000	234,286	410,684					6,652	6,652	10,237
-10	18	1.480	1.149	208,140	198,229	337,092					6,652	6,652	9,845
-9	19	1.423	1.147	150,000	142,857	233,169					8,870	8,870	12,622
-8	20	1.369	1.076	145,835	138,890	204,592	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	141,550
-7	21	1.316	1.035	189,590	180,562	245,936	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	136,070
-6	22	1.265	1.073	448	427	579	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	130,797
-5	23	1.217	1.036	448	427	538	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	125,834
-4	24	1.170	1.040	448	415	505	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	120,974
-3	25	1.125	1.000	448	415	467	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	116,322
-2	26	1.082	1.000	448	415	449	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	111,876
-1	27	1.040	1.000	448	415	431	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	107,533
0	28	1.000	1.000	448	415	415	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	103,397
1	29	0.962	1.000	448	415	399	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	99,468
2	30	0.925	1.000	448	415	384	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	95,642
3	31	0.889	1.000	448	415	369	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	91,920
4	32	0.855	1.000	448	415	355	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	88,404
5	33	0.822	1.000	448	415	341	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	84,992
6	34	0.790	1.000	448	415	328	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	81,684
7	35	0.760	1.000	448	415	315	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	78,582
8	36	0.731	1.000	448	415	303	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	75,583
9	37	0.703	1.000	448	415	292	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	72,688
10	38	0.676	1.000	448	415	280	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	69,896
11	39	0.650	1.000	448	415	270	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	67,208
12	40	0.625	1.000	448	415	259	51,609	7,690	26,790	6,220	11,088	103,397	64,623
~~~~~													
42	69	0.193	1.000	448	415	80	51,609	7,690	26,790	6,220	0	92,309	17,816
43	70	0.185	1.000	448	415	77	51,609	7,690	26,790	6,220	0	92,309	17,077
44	71	0.178	1.000	448	415	74	51,609	7,690	26,790	6,220	0	92,309	16,431
												0	
												0	
												0	
計				2,979,860		2,838,242	計						2,897,362

## 3. 効果額の算定方法

## (1) 水産物生産コストの削減効果

## ①沖防波堤延伸により、出漁待機時間が短縮され労働時間の削減

区分		備考
対象隻数(隻)	①	25
刺網：5～10トン		1
刺網：3～5トン		2
刺網：1～3トン		22
対象日数(日：共通)	②	40
整備前待機時間(時間：共通)	③	1
整備後待機時間(時間：共通)		0
作業人数(人/隻)	④	1
刺網：5～10トン		1
刺網：3～5トン		1
刺網：1～3トン		1
漁業者労務単価(円/時間)	⑤	1,652
年間便益額(千円/年)		1,652
		①×②×③×④×⑤

## ②外郭施設整備に伴う静穏度向上により遊漁船の出航日数の増加

区分		備考
整備前の年間延出航回数(回)	①	40
整備後の年間延出航回数(回)	②	80
登録遊漁船隻数(隻)	③	6
登録遊漁船乗船人数(人)	④	56
1人当たりの岩釣り料金(円/人)	⑤	6000
1日当たり経費(円)	⑥	16,525
		経費=①+②+③粟島釣船会ヒヤリング ①1回当たり燃料費 $60\frac{\text{円}}{\text{h}} \times 62\frac{\text{円}}{\text{分}} \times 1\text{h}$ (20分×3回)×2回(朝・昼)=7,440円 ②人件費1,652円×5時間=8,260円 ③年間保険料66,000円/80日=825円
年間便益額(千円/年)		9,474
		((②-①)×④×⑤)-((②-①)×③×⑥)

## ③外郭施設整備に伴う陸揚時他港移動経費の削減

区分		備考
整備前の他港陸揚日数(日)	①	25
整備後の他港陸揚日数(日)	②	0
他港陸揚航行時間(漁船)	③	1.00
他港陸揚移動時間(陸上作業)(時間)	④	0.25
作業人数(漁船)	⑤	1
作業人数(陸上作業)(人)	⑥	6
作業(移動)回数(漁船)	⑦	4
作業(移動)回数(陸上作業)(回)	⑧	4
漁船隻数(隻)	⑨	3
車両台数(台)	⑩	3
		調査日：平成28年11月 調査場所：栗島浦漁業協同組合 調査対象者：栗島浦漁業協同組合職員 調査実施者：栗島浦村職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		陸揚を2回行うため2往復 陸揚を2回行うため2往復 大安丸・長徳丸・宝進丸：漁協ヒヤリング 1台2名乗車

1時間当たり船舶燃料費（円）	⑪	2,480	60 $\frac{\text{リットル}}{\text{時間}} \times 62\text{円}/\frac{\text{リットル}}{\text{リットル}}$ ：漁協ヒヤリング
1時間当たり車両燃料費（円）	⑫	720	12円/km $\times$ 60km：漁協ヒヤリング
労働単価(円/時間)	⑬	1,652	平成26年漁業経営調査報告
年間便益額（千円/年）		2,199	$((①-②) \times ⑨ \times (⑥ \times ④ \times ⑧ + ⑤ \times ③ \times ⑦) \times ⑬) + ((①-②) \times ⑨ \times ③ \times ⑦ \times ⑪) + ((①-②) \times ⑩ \times ⑧ \times ⑫)$

## ④荒天時に釜谷漁港から栗島漁港へ避難する時間・経費の削減(2.5t～)

区分			備考	
整備前の他港避難日数（回）	①	13	調査日：平成28年11月 調査場所：栗島浦漁業協同組合 調査対象者：栗島浦漁業協同組合職員 調査実施者：栗島浦村職員 調査実施方法：ヒヤリング調査	
整備後の他港避難日数（回）	②	0		
他港避難航行時間（海路）	③	1.00		
他港避難移動時間（陸路）	④	0.25		
漁船隻数	⑤	5		
車両台数	⑥	5		
移動回数（漁船、車両）	⑦	2		
1隻当たり避難に係る人員数	⑧	1		
1時間当たり船舶燃料費（円/時）	⑨	3,720		60 $\frac{\text{リットル}}{\text{時間}} \times 62\text{円}/\frac{\text{リットル}}{\text{リットル}}$ ：漁協ヒヤリング
1時間当たり車両燃料費（円/時）	⑩	720		12円/km $\times$ 60km：漁協ヒヤリング
労働単価(円/時間)	⑪	1,652		平成26年漁業経営調査報告
年間便益額（千円/年）		799	$((①-②) \times (③+④) \times ⑤ \times ⑦ \times ⑧ \times ⑪) + ((①-②) \times ③ \times ⑤ \times ⑦ \times ⑨) + ((①-②) \times ④ \times ⑥ \times ⑦ \times 2 \times ⑩)$	

## ⑤荒天時の漁船避難に要するコストの削減

1) 防波堤整備により静穏度が向上し、2.5t未満漁船の船揚場の揚げ降ろしの頻度が大幅に減少

区分		備考
整備前の避難日数(回)	①	60
整備後の避難日数(回)	②	15
作業時間(揚げ降ろし)	③	2.00
作業人数	④	2
漁船隻数0~2.5t(隻)	⑤	31
労働単価(円/時間)	⑥	1,652
年間便益額(千円/年)		9,218

調査日：平成28年11月  
調査場所：栗島浦漁業協同組合  
調査対象者：栗島浦漁業協同組合職員  
調査実施者：栗島浦村職員  
調査実施方法：ヒアリング調査

平成26年漁業経営調査報告  
((①-②)×③×④×⑤×⑥)

2) 防波堤整備により静穏度が向上し、2.5t以上漁船の船揚場の揚げ降ろしの頻度が大幅に減少

区分		備考
整備前の避難日数(回)	①	40
整備後の避難日数(回)	②	10
作業時間(揚げ降ろし)	③	2.00
作業人数	④	2
漁船隻数2.5t以上(隻)	⑤	5
労働単価(円/時間)	⑥	1,652
年間便益額(千円/年)		991

調査日：平成28年11月  
調査場所：栗島浦漁業協同組合  
調査対象者：栗島浦漁業協同組合職員  
調査実施者：栗島浦村職員  
調査実施方法：ヒアリング調査

平成26年漁業経営調査報告  
((①-②)×③×④×⑤×⑥)

## ⑥荒天時の監視作業時間の削減

1) 釜谷漁港の監視時間の削減(漁船0~2.5t)

区分		備考
整備前の監視日数(回)	①	100
整備後の監視日数(回)	②	0
整備前の監視時間	③	4.00
整備後の監視時間	④	1.00
監視人数	⑤	31
労働単価(円/時間)	⑥	1,652
年間便益額(千円/年)		15,364

調査日：平成28年11月  
調査場所：栗島浦漁業協同組合  
調査対象者：栗島浦漁業協同組合職員  
調査実施者：栗島浦村職員  
調査実施方法：ヒアリング調査

登録漁船数(31隻、1人/隻として)  
平成26年漁業経営調査報告  
( (①-②)×(③-④)×⑤×⑥ )

2) 釜谷漁港の監視時間の削減(漁船2.5t以上)

区分		備考
整備前の監視日数(回)	①	60
整備後の監視日数(回)	②	0
整備前の監視時間	③	4.00
整備後の監視時間	④	1.00
監視人数	⑤	10
労働単価(円/時間)	⑥	1,652
年間便益額(千円/年)		2,974

調査日：平成28年11月  
調査場所：栗島浦漁業協同組合  
調査対象者：栗島浦漁業協同組合職員  
調査実施者：栗島浦村職員  
調査実施方法：ヒアリング調査

登録漁船数(5隻、2人/隻として)  
平成26年漁業経営調査報告  
( (①-②)×(③-④)×⑤×⑥ )



## ⑦ 静穏度向上による漁船の耐用年数延長

区分		備考
対象漁船総トン数 (36隻) ①	62.2	港勢調査 (H25実施) 【3トン未満】23隻 48.4トン+【3トン～5トン未満2隻7.8トン】 +【5トン～10トン未満】1隻6.0トン=36隻 62.2トン
漁港施設整備前の漁船の耐用年数(年) ②	7	減価償却資産の耐用年数に関する省令(財務省)
漁港施設整備後の漁船の耐用年数(年) ③	10.17	漁港経済効果調査報告書(がっくろ参考資料)
漁船建造費(千円/t) ④	3,227	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン
年間便益額(千円/年)	8,938	①×(1/②-1/③)×④

## (2) 漁獲機会の増大効果

## ① 外郭施設整備に伴う出漁可能日数の増大

区分		備考
整備前の年間延出漁回数(回) ①	90	調査日：平成28年11月 調査場所：粟島浦漁業協同組合 調査対象者：粟島浦漁業協同組合職員 調査実施者：粟島浦村職員 調査実施方法：ヒアリング調査
整備後の年間延出漁回数(回) ②	150	
整備後の年間総生産量(トン) ③	77.4	
1トン当たり水産物の単価(千円/トン) ④	488	(37.8百万円/77.4トン)H21～H26度港勢調査平均
経費率(%) ⑤	0.491	費用対効果分析のガイドライン(H28.4)4p
荒天時と平常時の漁獲比率(共通) ⑥	1.0	・漁獲比率は、影響があるほどの荒天時には出漁しない。
年間便益額(千円/年)	7,690	(②-①)×③/②×④×(1-⑤)

## (3) 漁業就労環境の労働環境改善効果

## ① 荒天時漁具収納に係る漁業者の快適性・安全性の向上

区分		備考
刺網船隻数(隻) ①	14	調査日：平成27年11月 調査場所：粟島浦漁業協同組合 調査対象者：粟島浦漁業協同組合職員 調査実施者：粟島浦村職員 調査実施方法：ヒアリング調査
小型定置網船隻数(隻) ②	10	
年間荒天時漁具収納日数(日) ③	30	
整備前作業時間(時間) ④	3	
整備後作業時間(時間) ⑤	0	
作業回数(回) ⑥	2	漁具倉庫からの出し入れ
作業員人数(刺網・小型定置)(人) ⑦	2	
労働単価(円/時間) ⑧	1652	平成26年漁業経営調査報告
年間便益額(千円/年)	14,273	①×③×(④-⑤)×⑥×⑦×⑧ + ②×③×(④-⑤)×⑥×⑦×⑧

## ②漁港施設整備により生産労働作業の労働負担が軽減されたことによる労働環境改善

区分		備考
受益者数(人)	①	82
平均操業日数(日)	②	150
平均作業時間(時間)	③	3.5
作業状況基準値(整備前)	④	1.176
作業状況基準値(整備後)	⑤	1.000
労働単価(円/時間)	⑥	1652
延べ作業時間(時間)	⑦	43050
年間便益額(千円/年)		12,517

## (4)非常時・緊急時の対応

## 1) 生命・財産保全・防御効果

釜谷漁港は北西向きの漁港のため、荒天時及び台風時に、北西や西風により漁港背後集落への飛沫による塩害被害が発生している状況にある。本整備により漁港背後集落への飛沫が低減され、飛沫による塩害の減少自動車や家屋の耐用年数が延長される。

## ①外郭施設整備に伴う漁港背後地域の財産保全(車両への塩害防止)

区分		備考
対象車両数(台)	①	65
自動車価格(千円)	②	1,750
整備前耐用年数(年)	③	5.028
整備後耐用年数(年)	④	6.0
被害低減率	⑤	0.9
年間便益額(千円/年)		3,298

## ②外郭施設整備に伴う漁港背後地域の財産保全(家屋の耐久年数の増加)

区分		備考
対象世帯延面積(m ² /世帯)	①	319.4
1m ² 当たり土地評価額(千円/m ² )	②	24.4
影響住宅件数(世帯)	③	30
影響家屋価格(千円/世帯)	④	7,793
整備前住宅耐用年数(年)	⑤	18
整備後住宅耐用年数(年)	⑥	24
被害低減率	⑦	0.9
年間便益額(千円/年)		2,922

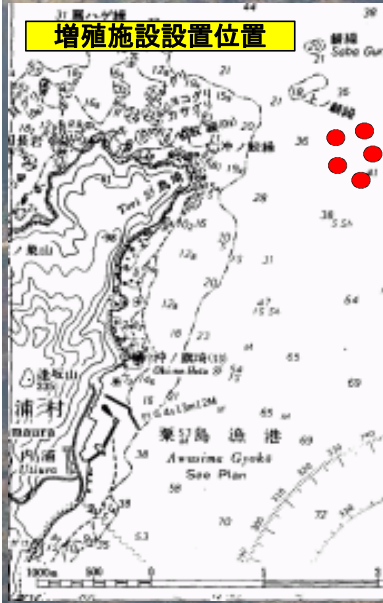
## (5) 漁獲可能資源の維持・培養効果

## ① 魚礁整備に伴う生産量の増大

区分		備考
魚礁1空m ³ 当たりの年間生産量(kg・空m ³ ) ①	4.39	平成19年度新潟県水産海洋研究所(岩船沖調査報告書)
事業量(空m ³ ) ②	6,000	並型魚礁漁場5箇所設置(H14-1箇所設置、H16-1箇所設置、H18-1箇所設置、H20-1箇所設置、H21-1箇所設置)
単価(円/kg) ③	827	魚礁漁獲魚類平均単価は、H27.11栗島浦漁協脇川課長ヒアリング
経費比率(%) ④	0.491	費用対効果分析のガイドライン(H28.4)4p
年間便益額(千円/年)	11,088	①×②×③×(1-④)

# 地域水産物供給基盤整備事業 釜谷地区 事業概要図

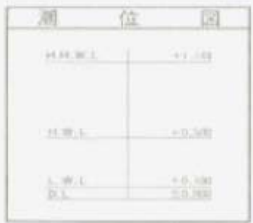
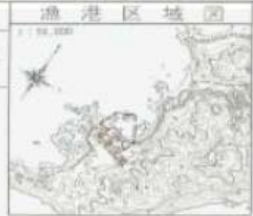
【整理番号6】



事業主体: 粟島浦村  
主要工事計画: 沖防波堤60m  
沖防波堤消波15m  
東防波堤改良60m  
東護岸改良40m  
増殖施設6,000空m3  
事業費: 1,748百万円  
事業期間: 平成13年度～平成21年度

漁港漁場整備長期計画  
釜谷漁港水産基盤整備事業計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
2210070	第1種	離島	粟島浦村	粟島浦村	新潟県岩船郡粟島浦村釜谷



- 凡例
- 釜谷駐車スペース
  - 釜谷集落建築物
  - ← 北西風

釜谷漁港は北西向きにある漁港であり、荒天時は飛沫の被害が背後集落全体に及んでいた。沖防波堤が完成し、北西の風に対

